

熊本大学

(熊本県)



指導教員2名(文・法学部・日本語)体制のもと日本語・日本文化を学ぶ

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

熊本大学は、旧制第五高等学校（「五高」）を母体とする伝統のある国立の総合大学です。

100年前の五高では、夏目漱石も教えました。現在、7学部・9大学院があり、約10,000人の学生及び約2,600人の教職員がいます。また、2014年には、文部科学省から、スーパーグローバル大学創成支援事業の対象校に選ばれました。



※国立国会図書館ウェブサイトより

② 国際交流の実績

2018年10月11日現在、52か国1地域の247大学・機関と国際交流協定を結び、学生交流及び研究者交流を行っています。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2018年：留学生数522人

日研生<国費> 5人(カンボジア、ベトナム、チェコ、フランス)

2017年：留学生数507人

日研生<国費> 4人(タイ、ルーマニア、インド、ブラジル)

2016年：留学生数527人

日研生<国費> 1人(インドネシア)

④ 地域の特徴

熊本市は九州の中央に位置し、人口約74万人の地方都市です。市内は市電や自転車が便利で、落ち着いた環境で勉強ができます。

東京へは飛行機で1時間半、大阪や京都へは新幹線で3時間なので、日帰りも可能です。

■コースの概要

① 研修目的

各学生の目的に合わせ、以下の2つのコースを準備しています。

(a) 日本事情・日本文化研究コース

日本事情・日本文化に関わる研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの

(b) 日本語能力向上コース

日本語能力のための研修を主とし、補助的に日本事情・日本文化に関する研修を行うもの

② コースの特徴

学部の指導教員及び日本語担当教員が常に連携し、コース選択から修了まで丁寧に指導します。

(a) 日本事情・日本文化研究コース

科目群	修得単位数	備考
日本語科目	6単位	1年間で合計24単位以上を修得すること
研究科目	①～④から8単位以上	
①日本語研究科目		
②日本文化研究科目		
自由選択科目		日本語科目、研究科目の科目群から10単位以上
* 修了レポートを提出し、口頭試問に合格すること		

(b) 日本語能力向上コース

科目群	修得単位数	備考
日本語科目	12単位	1年間で合計24単位以上を修得すること
研究科目	①～④から4単位以上	
①日本語研究科目		
②日本文化研究科目		
自由選択科目		日本語科目、研究科目の科目群から8単位以上
* 指導教員が認めた日本語による学習成果物を提出すること		

③ 受入定員

12名(大使館推薦8名、大学推薦4名)

④ 受講希望者の資格、条件等

日本語・日本文化を専攻し、自国の大学で少なくとも2年間日本語を学習していること。本学のレベル4(日本語能力試験N3-N2レベル相当)以上が望ましい。

⑤ 達成目標

さまざまな体験を通じて、日本の社会や文化に対する知見を深め、特に「(a) 日本事情・日本文化研究コース」では日本を対象とした研究を行う上で必要となるスキルを身につけ、一方、「(b) 日本語能力向上コース」では、日本語能力を高め、社会で役立つ日本語・日本文化の知識を身につけることを目指します。

⑥ 研修期間

2019年10月1日～2020年8月31日

修了式は8月中旬を予定(2018年は9月7日)



大学構内の夏目漱石像と

⑦ 研修科目の概要・特色

日本語科目、研究科目（日本語研究科目、日本文化研究科目、日本文化研究科目、日本社会研究科目）があります。

※研修科目は追加、変更になる場合があります、本コースガイドに記載のない科目についても修了要件として認められることもあります。

1) 必須科目（コースにより指定された単位数を下記1、2の科目の中から選択します。）

1：日本語科目

- ・日本語能力向上コース 12単位、360時間以上
- ・日本事情・日本文化研究コース

6単位、180時間以上

<日本語科目>

「聞く・話す・読む・書く」の4技能について、日本語能力の向上を目指します。1～6レベルのクラスが技能別に開講されています。学期はじめのプレースメントテストの結果や学生の希望に基づいて、受講するクラスを決めます。

[主な科目]

論文読解入門

論文を読むのに必要な文章構造や文法に関する知識を学ぶと共に、書き言葉や名詞化などのパラフレーズ練習を通してアカデミック・ライティングの基礎を身につけます。

上級口頭表現

大学のゼミ等で説得力のある発表ができるようになるために、発表の構成や定型表現、データの提示の方法を学びます。

上級レポート作成法

研究レポートのテーマ探しから作成・発表まで、実際に書きながら段階を踏んだ学習ができます。

※ビジネス日本語科目を開講

日本での就職に役立つ日本語を学ぶことができます。

ビジネス日本語 基礎

エントリーシートの書き方やグループディスカッションの進め方など、実践練習を通して、ビジネス場面で必要な日本語を学びます。

キャリア日本語 読解

企業で求められる日本語能力試験のN1に合格できる読解力を養います。

2：研究科目、その他

- ・日本語能力向上コース 4単位 60時間以上
- ・日本事情・日本文化研究コース 8単位 120時間以上

<日本語研究科目>

日本語の文法・音声・音韻・語彙などを通時的・共時的に分析・考察します。

[主な科目]

日本語学概論I

日本語を研究するために必要な基礎知識を習得します。日本語の音韻・文法・語彙それぞれの分野を共時的な視点から扱います。

国語学概説II

日本語文法の理論と文章表現を学びます。

※その他、日本語学概論II、日本語文章作成など

<日本文学研究科目>

日本文学に関する諸問題の考察を通じ、研究における様々な視点や方法を学びます。

[主な科目]

日本文学概論II

日本文学の流れをたどりながらその特質について概観するとともに、日本文学をいかに研究するか、その基本的な知識、姿勢、方法について学びます。

日本語日本文学入門

日本語あるいは日本文学を研究することの意義と方法について概観します。共通語と方言、書き言葉と話し言葉、古典文学と絵画、物語と和歌などをとりあげます。

日本語文章読解

日本の小説や随筆文、論説文をいくつか抜粋して取り上げ、それらを語彙や文体に注意しながら読みます。学んだことをもとに自分の考えを日本語で表現します。

※その他、日本文学概論I、文学の諸相など

<日本文化研究科目>

日本の歴史や文化をテーマとした基礎的な知識や専門的な研究のための視点を学びます。

[主な科目]

日本史概説II

日本の近世から近代にかけての政治と社会の動きを具体的に探り、日本近世・近代史の基礎を理解すると共に現代社会の基盤に対する理解を深めます。

文化史概説I

明治維新から敗戦までの日本近代思想史を学ぶことによって、日本近代思想史の基礎知識を習得すると共に、歴史認識を再考する手がかりを学びます。

日本の文化と社会

日本の社会、文化、歴史などについて基礎的な知識を習得します。授業で扱うテーマや素材は、参加者同士で話し合っただけで随時決めます。

※その他、日本史概説、民俗学概論IIなど

<日本社会研究科目>

現代日本の諸問題を、政治、教育をはじめとする様々な視点から分析・考察します。

[主な科目]

地域社会学概論I

社会の基本構造である家族と地域社会の構造と機能について、また地域社会の「原型」について学びます。明治以降の近代化・産業化についても触れます。

地域社会学概論II

戦後大きく変動してきている日本の地域社会の諸問題の課題や解決策などについて、現実的対応に焦点をおいて具体的な事例を用いて考察します。

※その他：社会学概説、教育社会学、民法入門、教育学概論、教育史など

2) 見学、地域交流等の参加型科目(研究科目に含まれます。)

芸術への招待C

熊本県内の芸術文化に携わる社会人による講義・実技。今日の芸術の姿を見聞きし、素養として芸術文化をたしなみ、考える。

人文地理学特講

城下町において熊本地震被災後1年間の変化を野外調査する。

3) 修了研究の内容

2020年3月末までに指導教員と相談の上、修了レポートまたは学習成果物のテーマを決めます。その後、指導教員の下、レポートを完成させます。日本語能力向上コースの学生は学習成果物の発表会が、日本事情・日本文化研究コースの学生は口頭試問がそれぞれ8月に実施されます。

4) 日本人学生との共修の機会

研究科目のほとんどが、文学部・教育学部・法学部及び教養教育で開講されている科目です。それらの授業では、日本人学生と一緒に学ぶことができます。また、課外活動でも日本人学生と交流する機会は多くあります。

⑧ 年間行事・年間スケジュール

<秋学期 10月～3月>

- 9月末 渡日、開講式
- 10月 ウェルカムパーティ
熊本市内文化探訪
- 12月 日本文化体験（福岡県太宰府市）
座談会（元日研生に聞く）
- 冬期休暇
- 1月～2月 定期試験
研修旅行
- 2月～3月 春期休暇

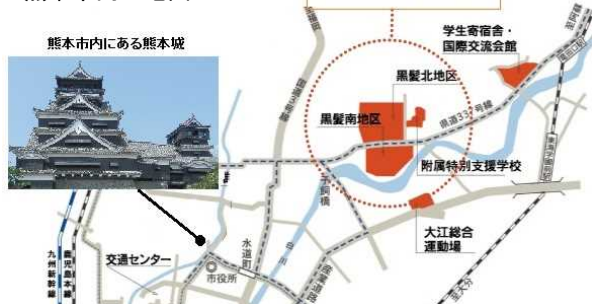


<春学期 4月～8月>

- 7月～8月 定期試験
- 8月 日本語による学習成果物提出/
修了レポート提出&口頭試問
閉講式、帰国

昨年の1泊2日
研修旅行（宮崎）

熊本市内の地図



大学から熊本城のある熊本市内中心部まで約2.5kmです。自転車で10～15分で行くことができます。

⑨ 指導体制

学生は、文学部等に所属し、教員は学生の専門に合わせてレポートの個別指導にあたります。

学生1名に対し所属する学部の指導教員1名と日本語担当教員1名の2名体制で共同指導を行います。

○プログラム実施委員

日本語・日本文化研修留学生の受け入れ、年間授業計画、成績判定、修了認定のために、全学からの委員による委員会が組織されています。

⑩ コースの修了要件

1年間に24単位以上を取得し、指導教員が認めた日本語による学習成果物を提出、または修了レポートを提出し、かつ口頭試問に合格した学生には修了証書を与えます。

■ 宿 舎

キャンパスから東に1.5kmほどのところに、留学生のための寮「熊本大学国際交流会館」があります。200人以上の留学生や研究者が住んでいます。宿舎から大学までは自転車10分くらいです。

<部屋タイプ> 単身室

<設備> キッチン・シャワー・トイレ・クローゼット・エアコン・ベッド・冷蔵庫・IHクッキングヒーター・机・いす・電話機（受信専用）等

<寄送料> 月額 17,000円（水道・光熱費を含まない）
* 料金は、変更になる場合があります。
* その他、入居時に預託金、退去時に清掃費・鍵交換費が必要です

ふとんリース：約10,000円/年

インターネット：別契約



国際交流会館の外観

■ 修了生へのフォローアップ

SNS等を活用して、修了者との交流を継続しています。
<修了後の進路例>

- ・大学院（母国・日本）進学
- ・日本企業勤務・日本語翻訳者

「日本で働く元留学生 —先輩と話そう—」

現在、3人の元日研生が熊本で働いています。その日研生の先輩を招待して、留学生活や日本での就職などについて座談会を開催しています。



2015年度の日研生
パウリナさん。
現在熊本県内の企業で
働いています。

留学生からの質問に答える
パウリナさん

■ 問合せ先

<担当部署>

熊本大学国際教育課

住所： 〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2-40-1

TEL： +81-96-342-2103/2133（直通）

FAX： +81-96-342-2130

Email： gji-ryugaku@jim.u.kumamoto-u.ac.jp

<ウェブサイト>

熊本大学グローバル教育カレッジホームページ

<http://www.c3.kumamoto-u.ac.jp/>

熊本大学ホームページ

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

日研生ホームページ

<http://www.kumamoto->

[u.ac.jp/kokusaiikouryuu/gaikokujinryugakusei/kyouikuprogram/japanese_studies_program](http://www.kumamoto-u.ac.jp/kokusaiikouryuu/gaikokujinryugakusei/kyouikuprogram/japanese_studies_program)